及川（おいかわ） 恒雄（つねお） 議員

■地方鉄道の存続

Q JR釜石線の利用状況およびこれまでの利用促進策、存続に向けた今後の取り組みについて伺う。

A 利用状況は減少傾向にある。利用促進策としてSL銀河をはじめとする各種事業に取り組んできた。今後、JRローカル線維持確保連絡会議や設置が予定されているJR釜石線の沿線自治体首長会議などを通じて、沿線自治体と連携を取りながら利用促進策の検討を行い、ローカル線の維持確保に取り組む。

■花巻市まちづくり総合計画

Q まちづくり市民ワークショップの取りまとめ結果および意見アイデアの反映と進捗状況について伺う。

A 一般部門、若者部門ごとに結果をニュースレターなどでお知らせしている。意見やアイデアは庁内組織で検討し、素案を作成していく。令和5年4月末に長期ビジョンの素案を取りまとめる予定であり、令和5年度内の策定に向け、審議会等への諮問、議会への上程を行っていく。

■花巻市まちづくり総合計画

Q 新市建設計画に盛り込まれ、未着手となっている事業は次期総合計画でどれくらい反映されると見込んでいるか伺う。

A 新市建設計画に掲げた事業数は601事業であり、令和3年度末で未着手が160事業ある。次期総合計画の長期ビジョンを策定し、事業内容を精査した上でアクションプランへ反映させる。新たに盛り込む事業は、あまり多くないものと考えている。

伊藤（いとう） 盛幸（せいこう） 議員

■新花巻図書館の整備

Q JRとの協議により、資料を市民に示し意見集約を図るとのことだが、病院跡地に整備する事業費と比較検討し経費の少ない方を選択することになるか伺う。

A JR東日本に今の状況を説明し、土地の譲渡に係る条件を提示されるようお願いしている。駅前と病院跡地に整備する場合の事業費およびその資料を市民に示し、話し合って意見の集約化を図りたいと考えている。事業費が安い方がいいという意見が出る可能性もある。

櫻井（さくらい） 肇（はじめ） 議員

■JR釜石線の存続

Q 国交省は、JR釜石線を含む輸送密度、人員が少ない沿線について廃線あるいは地元負担という提言を行ったが、存続への取り組みを伺う。

A JR釜石線は、通勤や通学など生活路線として必要不可欠な路線である。沿線自治体、県で組織するJRローカル線維持確保連絡会議に引き続き参加する。今後設置予定の釜石線の沿線自治体首長会議など関係者と連携し、釜石線を活用した観光振興を検討するなど、釜石線の維持確保に取り組む。

■新型コロナウイルス感染症対策

Q 感染症法上の分類を五類に移行することによる医療機関の対応と、医療費の自己負担について伺う。

A 新型コロナウイルス感染症の診察に対応している医療機関は32施設である。花巻市医師会においては、引き続き維持されると認識している。国は5類への引き下げにより、現在、全額国負担となっている医療費の一部について自己負担を求める方向で検討しており、動向を注視する。

鹿討（ししうち） 康弘（やすひろ） 議員

■婚活支援団体育成事業

Q 予算のほとんどが婚姻後の新生活支援への補助として使われているが、その成果について伺う。

A 結婚新生活支援事業費補助金は、結婚に伴う新生活に必要な家賃や引越費用、リフォーム費用などのスタートアップに関わる費用の補助であるが、交付希望者が大変多く、補正予算にて増額した。この補助金により結婚の増加につながっているかは実証できないが、少なくとも結婚生活の支援につながっていると考えている。

■保育士の待遇改善

Q 不適切保育や保育士不足の要因として、休憩も取れない過酷な待遇や不十分な配置基準があると考えられているが、市の支援と成果を伺う。

A 市では9の保育士応援事業に取り組んでおり、復職支援では令和5年1月までに114人の保育士が復職しているなど一定の成果を上げているほか、家賃補助や奨学金返還支援補助の利用者も多い。また、上半期から配置基準を超えた保育士を加配する施設に対して人件費の一部を補助している。

本舘（もとだて） 憲一（けんいち） 議員

■JR花巻駅橋上化・東西自由通路整備

Q 整備の事業主体は市であるが、自由通路の利用者のほとんどが鉄道利用者であれば、JR東日本が事業主体となるのは当然であると考えるが、この検討をJR東日本に申し入れた経緯があるのか伺う。

A 自由通路の整備に合わせ、駅の橋上化を検討することとなってからも、JR東日本は自ら整備する考えは一切なかった。自由通路を整備する場合は、一貫して整備費用は市が負担することとの意向であった。

■旧新興製作所跡地の取得

Q 跡地の取得を検討するための調査費用が一般会計補正予算案に計上され、3月定例会で審議となるが、市で跡地を取得する検討の状況を伺う。

A この土地を利活用するためには約14億円が必要と試算している。歴史的に由緒ある場所であることから、上部平坦地の全部または一部を保存し、外観上の問題を解消する場合に、どの程度の費用が必要になるのか調査したい。

佐々木精市（ささきせいいち） 議員

■自動体外式除細動器（AED）について

Q AEDの設置場所の周知、公共施設における使用状況、操作研修の実施状況について伺う。

A 市ホームページに、市が把握しているものと全国AEDマップのリンクを掲載している。今後は、設置位置が確認できるQRコード付カードを配布するなど周知に努める。市が管理する施設での使用実績はない。消防本部主催の応急手当講習会は年9回実施しているほか、各種団体からの依頼により講習会を随時開催している。

■不登校児童生徒に対する支援

Q 不登校の児童生徒について、現在把握している人数と対応策について伺う。

A 令和5年1月末時点で小学生32人、中学生76人の不登校生が報告されている。担任などの教職員や生徒支援員、スクールソーシャルワーカーと連携を取りながら、児童生徒一人一人に寄り添い、多様な学習の機会や体験の場、心身のサポートを提供できるよう支援していきたい。